

令和5年1月31日(火)

稚内海上保安部



間宮うみまる

ザ・もっともきた



最北ねっと 185号

海の「事件・事故」は

118番

海上保安庁緊急通報用電話番号です。

「人命救助の一番槍」 海面救助員 今年も誕生！



4名の新「海面救助員」

稚内海上保安部における「海面救助員制度」の2期生として、1月20日、新たに4名の海上保安官が、「海面救助員」として認定されました。

従来から海上保安庁は、海面作業に伴う救助活動について、潜水士、機動救難士等の専門的救助勢力で実施することを基本としてきましたが、昨年度新たに、海面救助員制度が設けられました。

この制度は、体力・知識・技能等、その適性を満たすことが確認された一般海上保安官を「海面救助員」として認定し、救助活動を行うためのものです。

この度、認定された4名は、普段の業務に従事しながら、昨年の春季より厳しい訓練に臨み、海面救助員として必要なスキルの習得に努めてきた結果、晴れて認定の日を迎えることとなりました。

今後、「救える命は確実に救う」をモットーに、救難技術の維持向上に励んでいきます。

厳しい訓練の日々



カーフェリー一年末年始安全総点検

年末年始の輸送繁忙期を控えた12月12日、船舶の安全運航と事故の未然防止を図るため、稚内海上保安部と北海道運輸局旭川運輸支局が合同で稚内市と利尻島・礼文島を結ぶカーフェリーの安全総点検を行いました。

この点検では、船橋班と甲板班に分かれ、各法定書類や救命設備等の確認を行いました。いずれも異常はありませんでした。

点検終了後には当部次長が講評を行い、フェリー会社及び乗組員に対して点検結果を伝えると共に、今後も安全運航を継続するよう依頼しました。



稚内海上保安部救難技術審査会

12月6日、20代の若手所属職員を中心に基礎救難技術の定着及び組織的な救難対応能力維持を目的として、救難技術審査会を実施しました。

競技参加者は、「結索」「空気呼吸器取扱・搬送」「心肺蘇生法」の3つの分野で速さと正確性を競い合い、即戦力となるべく日々訓練を重ねた成果を存分に発揮しました。



2年連続！！ 灯台絵画コンテスト入賞

公益社団法人 燈光会主催、海上保安庁後援による「灯台絵画コンテスト2022」において利尻富士町立鷺泊中学校 3年生 西島一樹さんが中学生の部で銅賞を受賞されました。

受賞作は「海をみつめて」と題され、地元の杓形港西外防波堤灯台をバックに、オジロワシが遠くの海を見つめる様子が描かれたもので、西島さんの受賞は昨年に引き続き2年連続となりました。



海水情報センター 情報提供開始

第一管区海上保安本部海水情報センターは、令和4年12月20日、今季の情報提供を開始しました。同センターではインターネットにて海水速報（開所期間中 毎日午後5時頃更新）などを提供しています。インターネットアドレス ▶ <https://www1.kaiho.milt.go.jp/KAN1/1center.html>

海水の状況が毎日提供されます



見ます・守ります・最北の海 稚内海上保安部

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118) ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/> 職員募集・学校訪問・職場体験等お気軽にお問い合わせください!!

